

## 2012年度事業報告

### 1. 公益目的事業

#### (1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

---

友愛学舎・ゲストハウス・レジデントアシスタントを中心に各学生サークルの連携をはかり、留学生へ情報発信を積極的におこなうことにより、双方の学生が刺激しあい成長していけるような環境づくりを行った。

#### ■Feel Japan 年中行事を楽しむ会

日本の文化紹介プログラムを実施、留学生と日本の学生が知り合う一助になることも目的とするが、国際学舎に居住する留学生が寮生活をしながら日本の伝統行事を知る機会を提供した。インターンシッププログラムの成果により、計画的なプログラムを実施することができた。

活動：

6月	茶道教室	新宿区榎町地域センターにて、5名参加
6月	歌舞伎を見に行こう！	国立劇場にて「俊寛」を鑑賞、9名参加
11月	紅葉狩り	高尾山にて、14名参加
2月	ひなまつり	早稲田奉仕園セミナーハウスにて、20名参加
1月	おもちつき	早稲田奉仕園3号館ロビーにて、25名参加

#### ■国際理解講座 Global Understanding

毎月2回「平和」をテーマに様々な角度から国際理解を深めるための知識をディスカッション形式で学び、コーディネーターとして早大YMCAの石戸充氏が指導した。沖縄の日本復帰40年となる年に沖縄戦の歴史、文化、在日米軍基地問題を中心に学び、2013年度に開催するフィールドワークに向けて準備を行った。参加人数は平均6名。

#### ■韓国ハンバット大学校日本研修

韓国ハンバット大学校日本語科の地域専門家養成プログラムとして訪日研修を受

け入れた。

期間：2013年2月12日～23日

プログラム：企業訪問、日本の政治・在日外国人の状況等についての講義、文化  
体験、友愛舎生との交流等を実施した。

参加者数：学生12名、引率教員2名

2/12	韓国・インチョン → 日本・成田
2/13	東京都庁見学 — 新大久保 — 早稲田界隈見学 雛飾り、奉仕園紹介、歓迎懇親夕食会
2/14	国際業務の仕組みとディーリングルーム見学@三菱東京UFJ銀行 講義「個人の能力をチームにどのように生かせるか」 日本データビジョン株式会社営業企画部国際人財チーム KOO Inmo 氏
2/15	日本の企業文化（ライフワークバランス）への取り組み@住友商事見学 講義「NGOと企業の連携」 JANIC 事務局次長 富田岳士氏
2/16	講義「未来のために私たちができること」 NHK 国際部記者 松田智樹氏(早稲田奉仕園友愛学舎 OB) NHKスタジオ見学
2/17	自由時間
2/18	青丘社—ふれあい館見学（在日大韓川崎教会 金健牧師）「川崎での取り組み」 —東芝科学館見学
2/19	講義「日本的経営とは何か～日本的な組織・しくみ～」 中央大学講師 宣 元錫氏 都市開発の取り組みとヒカリエ見学@東急電鉄
2/20	講義「企業が求めるグローバル人材とは～学生時代に心がけること～」 キャリアコンサルタント定森幸生氏
	朝日新聞社見学
2/21	靖国神社（遊就館）見学と説明・講義（辻子 実氏） WAM（女たちの戦争と平和資料館）見学と説明
2/22	江戸東京博物館 見学 落語鑑賞（新宿末広亭）、発表会・送別夕食会
2/23	日本・羽田→韓国・金浦

## (2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

---

### ■日本語ボランティアの会

日本に暮らす外国人に日本語を教え、生活上のサポートをおこなうとともに地域との交流をはかる日本語ボランティアの会は14年目を迎えた。毎年『日本語ボランティア養成講座』の修了生がボランティアの会の活動に多く加わっている。特別活動として課外授業、新年会、学習者発表会、講師研修会など随時行った。

2012年度登録ボランティア数：67名

参加延べ人数：ボランティア2,364名、学習者3,248名

### ■あすなろ会

知的障がいがある子どもたちと遊ぶボランティア活動を毎週土曜日におこない、学生が選ぶ委員会を中心として企画・運営した。奉仕園クリスマス会には料理を出して協力した。

2012年度はあすなろ会50周年の記念会を実施、今後のあすなろの活動についての提言もいただいた。また、学生たちの研修として、友愛学舎OBが運営するマレーシア・ボルネオの障がい者施設でのワークキャンプに4名が参加した。

参加人数：学生6名、子ども5名

### ■東日本大震災被災者支援・復興支援活動

友愛学舎と信愛学舎の学生を中心に、恵泉女学園大学の学生も含めて継続的な被災地支援活動を行った。夏期には岩手県大槌町浪板にて「浪板の夏休み」を実施し、41名が参加した。地域の住宅や仮設住宅での軽作業、地元の子どもたちと一緒に過ごすプログラムとなった。

11月には昨年度から開催しているシクラメンプロジェクトの第2回目を実施し、32名が参加、浪板地区の居住者宅にシクラメンを持って訪問、地元の方々との交流をおこなった。

留学生もボランティアに参加し、日本の大学生活動を通して交流する場ともなった。

この他、これまでのボランティア活動に参加した学生による自主的な活動として、ギャラリーでの展示会、太陽光発電によるクリスマスツリー電飾プロジェクトもおこなわれた。

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語学講座

アジア諸地域の言語を学ぶことを通じ、文化や習慣、社会への理解を深めることを目的に開設。

①通常クラス

前期：受講者数合計 116 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計
韓国語		初級 1 6	中級 3 中級会話 4	上級会話 6	19
タイ語		初級 1 4	中級 5 中級 2 6	上級会話 3	18
ベトナム語		初級 2 4	中級 4		8
ベンガル語	入門 5 プライベート 4	初級 1 11 初級 2 5 初級 3A 5 初級 3B 4	中級 5		39
クメール語			中級 4		4
ヒンディー語	入門 7		中級 5		12
モンゴル語	入門 4	初級 3 4	中級 3 基礎復習 5		16

後期：受講者数合計 102 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計
韓国語		初級 2 5			5
タイ語	3		中級会話 5		8
ベトナム語		初級 3 4			4
ベンガル語	5	初級 2 10 初級 3 5	中級 4 中級会話 4	6	34
クメール語			4		4
ヒンディー語	11	初級 1 5	6		22
モンゴル語		初級 1 3	中級 4 中級会話 4 基礎復習 5		16
ミャンマー語	9				9

その他クラスの交流の催しとして、各期に1回、曜日ごとの TEA BREAK を開催。

#### ②夏の2日間集中講座

7月の連休を利用した初心者向けの集中講座を開講(5時間×2日間)、受講者数合計11名。

(1) 開講日：7月14日(土)、15日(日) 受講者数：タイ語5名

(2) 開講日：7月15日(日)、16日(月) 受講者数：ミャンマー語5名

#### ③気軽にチャレンジ！はじめての韓国語通訳2日間レッスン

韓国語ネイティブのプロ通訳者による韓国語への訳出に重きをおいた集中講座を開講  
(5時間×2日間)

開講日：7月15日(日)、16日(月) 受講者数：6名

#### ④春の2日間集中講座

3月の週末を利用した初心者向けの集中講座を開講(5時間×2日間)、受講者数合計20名。

(1) 開講日：2013年3月9日(土)、10日(日)

受講者数：ベンガル語5名、モンゴル語4名

(2) 開講日：2013年3月16日(土)、17日(日)

受講者数：ヒンディー語5名、ミャンマー語6名

#### ⑤実践力をつけよう！はじめての韓国語通訳2日間レッスン

プロ通訳者による通訳メソッドを用いた上級者対象の集中講座を開講(5時間×2日間)。

開講日：2013年3月9日(土)、10日(日) 受講者数：7名 講師：矢野百合子

#### ⑥アジア語学特別講座

アジアの文化、社会に関するテーマを取り上げアジア地域への理解を深めるきっかけとすることを目的としたオープンセミナー。

6月2日 レヌ先生のベンガル料理講座 参加者数：11名

11月23日 アン先生のタイ料理教室～タイの郷土料理をつくろう～ 参加者数 8名

#### ⑦講座交流会

半期に一度、全講座の参加者と講師が集う交流会を開催。講師とともにアジアの料理を作ったり、クラスごとに歌や踊り、詩の朗読などの出し物を行い、文化体験とともにクラス

を越えた交流が生まれる会となっている。

開催日：7月21日（土）参加者数：52名

#### ⑧アジア語学講座開設40周年プレ企画

(1) バングラデシュ写真展～色とりどりの写真で綴る等身大の暮らし～

石川直樹さん（写真家・冒険家）による写真展。バングラデシュの自然や文化、人々の等身大の生活を約20点の作品を通じて伝える。

共催：特定非営利活動法人 シャプラニール＝市民による海外協力の会

日時：2013年3月14日～17日 会場：スコットホールギャラリー 来場者：約60名

(2) 筒井事務局長とジュエル先生のおしゃべりワークショップ みんなでノクシカタを作ろう！

日時：2013年3月16日 会場：スコットホールギャラリー

講師：筒井哲朗（シャプラニール事務局長）、ジュエル（アジア語学講座ベンガル語講師）

参加者数：14名

### ■英語講座

ネイティブ講師と英語でコミュニケーションをとることを中心に、楽しみながら英語を身につける「ムリなく学べる基礎英語」、時事的トピックスを英語で話し合い理解を深めると共に英語のブラッシュアップをする「What 's Happening in the World?」クラスを開講。各期、最後のクラスではティーブレイクの時間を設け、クラス内の交流を図った。

受講人数 前期：34名、後期：32名

開講クラスおよび受講者数：

クラス	前期	後期
ムリなく学べる基礎英語（火）	9	8
ムリなく学べる基礎英語（金）	10	9
Lecture&Discussion（土）	15	15
合計	34	32

## ■日本語ボランティア養成講座

地域に住む外国人などにボランティアで日本語を教えるための学習法を学ぶ。受講対象はおもに中高年の、比較的時間に余裕があり社会貢献をしたいと思っている方々を想定している。奉仕園の『日本語ボランティア養成講座』は1年間通して学べる講座として、4月に初級Ⅰ（全16回・1回2時間）、10月に初級Ⅱ（全10回・1回2時間）、中上級（全6回・1回2.5時間）を開講した。講師には日本語ボランティア歴25年、現在武蔵大学講師を勤める数土容子氏にご担当いただいている。各講座修了生には修了証書を発行、修了生の多くが日本語ボランティアの活動を始めている。

講師：数土容子（武蔵大学講師）

受講者数：初級Ⅰ25名、初級Ⅱ24名、中上級20名

## ■「スコットホールでゴスペルを歌おう」講座

スコットホールの空き時間を利用してゴスペル講座を開講している。奉仕園に集い、仲間ができ、歌う楽しさを味わうことで元気になっていくことを目指している。

発表会もあり、その目標に向かって講師オリジナルアレンジの曲を習得していった。スコットホールで気持ち良く、思いっきり練習、発表ができるのが喜ばれている。

開講日と受講者数：

シーズン①4月12日から6月14日（全7回）8名

シーズン②7月12日から9月20日（全7回）7名

シーズン③10月18日から12月13日（全7回）6名

シーズン④2013年1月17日から3月14日（全7回）6名

いずれも木曜日14時から15時30分

このほか、7月21日講座交流会で発表、11月22日クリスマスツリー点灯式で発表、12月20日にクリスマス発表会を開催。

講師：藤田聖子（プロシンガー）

## ■鈴木喜一の水彩画特別レッスン

教養講座の新たなプログラムとして2011年11月より全6回（2012年度後期は全7回）で

開講。静物画や野外スケッチ、作品講評を中心に、初心者向けに実技を丁寧に指導する。

講座終了後は収蔵展の特別展示として受講生の作品をスコットホールギャラリーにて展示。

受講人数：前期8名 後期5名

講師：鈴木喜一（武蔵野美術大学講師）

#### ■聖書講座「はじまりの聖書」＜日本クリスチャンアカデミー関東活動センターとの共催＞

聖書に関心はあるけれども、独りで読むのは難しいなと感じている方、教会も訪ねてみたいけれど、なかなか機会がないという方、教会には通っているけれど、まだ聖書はよく分からないなという方などを対象に、聖書のメッセージをわかりやすく学ぶ。

講師：吉岡康子（青山学院女子短期大学宗教主任、日本基督教団吉祥寺教会牧師、学生キリスト教友愛会SCF館長）

期間：2013年2月から6月の全5回

受講人数：平均15名

### （4）学寮運営事業（友愛学舎・ゲストハウス）

---

#### ■友愛学舎

大学学部生寮（1号館2階1室・3階12室）、舎生数13名

舎生：4年2名、3年3名、2年4名（1名は7月末退舎）、1年4名が在寮

年間活動：

朝の会：学期期間の平日午前6時30分から7時、聖書講読（コリント信徒への手紙）、学生発表等を定期的実施。指導は古賀博牧師（早稲田教会）、大矢直人牧師（東京平和教会）、有住航伝道師（早稲田教会）

舎生会及び委員会：学期期間中毎月1回

年間行事：入舎式及び歓迎会（4月）、三学舎交流会（5月）、奉仕園ホームカミングデーで被災支援活動報告（7月）、早稲田学生寮チーム被災支援ワークキャンプ（8月）、ジャパニーズナイト企画運営（9月）、早稲田学

生寮チームでの被災地支援（11月）奉仕園クリスマスでの友愛劇（12月）、新入寮生面接（1～3月）、卒舎式及び歓送会（3月）

外部活動への参加：奉仕園や他団体が主催のプログラムへの参加を促し学生時代に多くの経験ができるような機会を提供することに努めており、1名が2013年2月にバプテスト教会主催のタイでの教会建設ワークキャンプに参加した。

#### ■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による学生寮のネットワーク構築を目的に、2012年に発足。現在、友愛学舎、早稲田大学YMCA信愛学舎、東京YMCA山手学舎、山上学寮、登戸学寮、東京ティラナスホール、一橋大学YMCA一橋寮、春風学寮、東京大学YMCA寮の9団体が参加。2012年度は10月に発足の準備会合、3月に奉仕園にて第1回定期会合を開き施設の見学、スタッフ間の連絡や入寮に関する情報交換をおこなった。

#### ■ゲストハウス

日本人大学生・大学院生及び外国人大学生・大学院生・研究者寮（1号館2階）。奉仕園クリスマス、Friday Night等へ積極的に参加をした。

寮生：7カ国から7名が在寮

### （5）早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

#### ■国際学舎

早稲田大学外国人留学生・研究者寮152室。早稲田大学留学センターで年に2度、各寮の管理者ミーティングが行われるようになった。各寮のRAが集まるRAミーティングも月に一度早大留学センターで行われている。以前が10カ月の交換留学で来日している学生が多かったが、最近は、4カ月のダブルディグリー、MBAなどのプログラムの学生が増えている。

寮生：30の国と地域のべ241名が在寮

## ■留学生健康相談室の運営

毎週月曜の午後1時から3時30分、水・木曜日の午後1時30分から5時30分までオープン。保健師及び医師が応急処置や病院紹介などの相談及び健康状態について個人面談をおこなった。各号館入口に消毒液を置いたり、手洗いの指導をするなど、感染を予防するよう喚起した。本年度の延べ相談人数は62人であった。既往歴がある学生は、健康相談室で面談をし、現在の症状、医者の説明書、日本での治療、緊急の際の対処方法を確認している。

## ■ F r i d a y ・ N i g h t

奉仕園居住の学生、各種講座受講生など奉仕園会員の交流と親睦の会。友愛学舎や学生サークル、留学生が出会える場の提供を行う。付随してボランティアサークル主催のパーティー等学生各自が企画するものも実施されている。9月のウェルカムパーティーは友愛学舎主催で行われ、舎生が作った日本料理と仮装は留学生に好評であった。

開催日：4月20日「ウェルカム・パーティー」71名

9月28日「ウェルカム・パーティー日本の夕べ」117名

## ■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、12月8日に開催した。交流パーティーのほか、グループや個人によるアトラクション、友愛劇を行った。なお、例年同様OBクリスマス会と合同で礼拝を守った。参加者数は寮生・講座受講生等で113名であった。

## ■第9回早稲田大学留学生長野県大岡研修旅行

長野県長野市大岡を訪問し、中学校での児童との交流、ホームステイによる地元の人々との交流、田植え、伝統芸能の体験、陶芸などを通じて、日本の山村生活に触れる。日本の原風景を訪れ、大岡ひじり学園にて山村留学をしている小中学生と触れ合うことは情報社会に生活している私たちにいろいろな意味で課題を与えてくれるプログラムである。中学生のみなさんと有意義な国際交流をすることができた。

協力：早稲田大学国際コミュニケーションセンター、財団法人育てる会大岡ひじり学園、

長野市教育委員会

期間：2012年5月25日～27日

参加学生：中国6名、台湾3名、香港4名、スペイン1名、カンボジア2名、  
カナダ2名、スウェーデン1名、フランス1名、シンガポール1名、RA2名、  
スタッフ2名計25名

プログラム：史跡散策、陶芸、温泉、伝統芸能（鑑賞・実習）、そば打ち、田植え、  
ホームステイ、中学生との交流会

### ■第3回富士山登頂旅行

YMCA 東山荘に受け入れを依頼し、日本人学生・留学生・研究員と一緒に登頂を目指した。  
事前のオリエンテーションにおいて、富士山のこと、登山の知識等のレクチャーを行った。

期間：7月29日～31日の2泊3日（1泊は山小屋）

人数：学生8名・RA1名・スタッフ2名

協力：YMCA東山荘

### ■第7回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

YMCA 東山荘に受け入れを依頼し、富士山の自然にふれ、そりすべり、動物の足跡探しなど  
アクティブな活動を行った。今年は初日に大雪が降り、箱根の観光（大涌谷、海賊船乗車  
など）が一部中止となった。しかしながら、初日から温泉に入ることで、友愛学舎の学生  
と留学生との良き交流の場となった。雪がたくさんあったため、かまくら作りなどの雪遊  
びを楽しむことができた。

協力：日本YMCA 同盟東山荘、早稲田大学国際コミュニティーセンター

期間：2012年2月6日～8日

参加学生：カナダ3名、タイ2名、台湾1名、中国4名、韓国3名、シンガポール1名、  
スペイン1名、カンボジア2名、スウェーデン1名、アメリカ2名、RA1名、  
スタッフ2名、計23名

プログラム：ほうとう作り、富士山スライドショー、富士山麓散歩、雪遊び、  
キャンプファイアー、忍野八海・箱根観光など

## ■ホームビジット

ホームビジットプログラムは、早稲田奉仕園寮に居住している留学生に東京近郊の一般的な日本人家庭を訪問し、その生活を知ってもらうことにより学業のみならず「普段着」の日本を知ってもらう機会としている。又、ホストファミリーの方々には留学生との交流を通して異文化・異世代体験をしていただいている。留学生を受け入れていただいているホストファミリーは、奉仕園 OBOG、早稲田教会、東京平和教会、奉仕園日本語ボランティアの会、稲門会等の方々にご協力をお願いし、現在 14 組のホストファミリーに登録していただいている。2006 年プログラム開始時より今までに、留学生述べ 192 名、ホストファミリー 95 の参加となっている。

前期：6 月 4 日～7 月 8 日、留学生 4 名・ホストファミリー 4

後期：10 月 15 日～12 月 9 日、留学生 16 名・ホストファミリー 7

## 2. 収益事業

### (1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

#### ■賃貸事業

月極め駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。

#### ■施設管理の受託

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。

### (2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

#### ■施設の貸与（会議室・ホール）

撮影が好調で予算を大幅に超えた。同じ雑誌、同じ制作会社が継続して利用することが多いためと思われる。卒業式着付けの企業が 2 社に増え、年間利用団体 10 位以内に 2 社が入った。パーティーの件数が減り、各自が飲食を手配するケースが増えているため、飲食収

入は減少となった。

ギャラリーは関係者への営業の成果が上がり、予算を上回ることができた。ギャラリー主催で行った「第1回東京の近代建築スケッチ公募展」は50名余りの応募作品が集まった。

ギャラリーでは以下の企画展及び関連イベントを開催した。

4月5日～4月10日「北田英治写真展 ベーハ小屋」来場者 215名

4月13日～4月23日「進行形のマリア」来場者 200名

4月15日「進行形のマリア」ライブパフォーマンス

5月24日～6月5日「スコットホールギャラリー収蔵作品展」

7月12日～7月16日「水彩画レッスン作品展」

12月20日～25日「野口毅写真展 LighthouseIV」来場者 200名

1月17日～1月29日「大橋富夫写真展 東京70」来場者 500名

2月14日～19日「田中忠雄・渡邊禎雄・鈴木喜一 三人展」

3月14日～17日「石川直樹 バングラデシュ写真展&ノクシカタ作りワークショップ」

(シャプラニール共催)

## ■プログラム（協賛を含む）の開催

- ・東京都教育委員会主催「東京文化財ウィーク」に参加し、11月2日に歴史的建造物スコットホール公開事業を開催した。ガイドツアーには30名参加、計50名がスコットホールを見学した。
- ・チャリティー古本市は、5月15日～6月30日に開催、売上金55,100円を外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会の「外国人被災者支援プロジェクト」に寄付、また10月15日～11月30日に開催し売上金51,120円を「知的障がい者授産施設ワークショップ湯田・沢内」に寄付した。
- ・セミナーハウスを利用する団体のうち趣旨に賛同する活動に対し、チケットの購入や使用料の一部を援助する協賛活動を以下の通り行った。

1月27日 外国人のための無料健康相談会（シェア＝国際保健協力市民の会主催）

3月2日 リビー・チャリティー・コンサート（東京YMCA “liby” 主催）

### 3. 法人事務

#### ■財団広報

『奉仕園通信』は 65 号（10 月 15 日）、66 号（3 月 31 日）を発行した。財団ホームページは定期的な更新作業のほか、2013 年度に 40 周年を迎えるアジア語学講座の「アジア語学講座 40th 特設サイト」を開設した。「早稲田奉仕園スタッフのブログ」は年間を通じて 76 記事を掲載した。また、フェイスブックの活用も本格化し、ネットワークの広がりがみられる。

#### ■財団会議

理事会：第 1 回定時理事会（6 月 8 日）、第 2 回定時理事会（2013 年 3 月 8 日）

評議員会：定時評議員会（6 月 19 日）

常任理事会：第 1 回（5 月 18 日）、第 2 回（7 月 20 日）、第 3 回（2 月 20 日）

監査：監事監査 5 月 18 日、監査法人監査 5 月 17 日～18 日

理事・評議員・監事懇談会：11 月 6 日

#### ■評議員・理事人事

佐藤亨評議員退任（6 月 19 日付）、南川良典評議員就任（6 月 19 日付）、

矢野百合子評議員退任（2013 年 3 月 31 日付）

齋藤善久理事退任（9 月 30 日付）

#### ■登記及び行政庁関係

登記：小川忠評議員抹消（4 月 3 日）、佐藤亨評議員抹消（7 月 4 日）、

南川良典評議員登記（7 月 4 日）、齋藤善久理事抹消（10 月 1 日）

内閣府：評議員変更届（4 月 18 日）、2011 年度事業報告等の提出（6 月 29 日）、

評議員変更届（7 月 18 日）、税額控除に係る証明申請（8 月 22 日）、

税額控除に係る証明書受領（9 月 10 日）、理事変更届（10 月 19 日）、

2013 年度事業計画書等の提出（2013 年 3 月 29 日）

都税事務所：固定資産税減免対象確認のため立入調査（8 月 24 日）

## ■賛助会員

2012年度は個人147名、法人1団体より賛同をいただくことができた。9月10日に寄付金の税額控除の対象団体に認定されたことも加入を促進したとみられる。

## ■キリスト教施設長会

キリスト教施設長会議を2013年1月30日から2月1日まで北海道クリスチャンセンターにて開催され、吉田専務理事が出席。

## ■インターンシップ制度の導入

7月より3月まで、インターン生として、「被災地支援活動」、「国際交流活動」、「アジア語学講座」に3名の学生が実習を行った。